

SEASON REPORT

2022 冬

ごあいさつ

令和3年度 第3四半期概況

保証承諾 保証債務残高 代位弁済

Business Report

シーラック株式会社

Topics

- 日本赤十字社から感謝状を受領
- 経営改善セミナーを開催
- 日本政策金融公庫および商工組合中央金庫と覚書を締結
- 信用保証業務推進協議会を開催
- 業務改善運動 (ssh運動) 事例発表会を開催
- 県内の学生向けに講義を実施
- ちあふるイベント (創業セミナー・マルシェ) を開催
- しずおか中小企業支援ネットワーク第15回連絡会議を開催
- 令和3年度 第2回外部評価委員会を開催
- LINE公式アカウントのお知らせ
- 無料経営相談実施中



SHIZUOKA GUARANTEE

静岡県信用保証協会

SEASON REPORT

2022 冬

CONTENTS

ごあいさつ..... 1

令和3年度 第3四半期概況..... 2

保証承諾 保証債務残高 代位弁済

Business Report 6

シーラック株式会社



Topics 8

- 日本赤十字社から感謝状を受領
- 経営改善セミナーを開催
- 日本政策金融公庫および商工組合中央金庫と覚書を締結
- 信用保証業務推進協議会を開催
- 業務改善運動 (ssh運動) 事例発表会を開催
- 県内の学生向けに講義を実施
- ちあふるイベント (創業セミナー・マルシェ) を開催
- しずおか中小企業支援ネットワーク第15回連絡会議を開催
- 令和3年度 第2回外部評価委員会を開催
- LINE公式アカウントのお知らせ
- 無料経営相談実施中



〈表紙写真〉富士より高く
撮影者：大野 剛 (焼津市)
撮影地：富士山静岡空港

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃は、当協会の業務運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

最近の県内経済は、新型コロナウイルス感染者数の大幅な減少もあり、感染予防対策に努めながら社会経済活動が再開されたことなどにより持ち直しています。その一方で、部品の供給不足や原材料価格の高騰、新たな変異株への対応などによる企業への影響が懸念されているところであります。

当協会の状況につきましては、令和2年度にコロナウイルス関連保証が急増し、令和3年9月末現在のコロナ関連保証の承諾額は、9,930億円、保証債務残高は、1兆3,926億円となっています。また、保証利用企業数は、県内企業の4割を超える約5万3,000企業に増加しております。

令和3年5月末をもって、実質無利子・無担保融資のいわゆるゼロゼロ融資が取扱い終了となり、コロナウイルス感染症対策としての金融支援は一区切りとなりました。今後は、コロナウイルス関連保証にかかる利子補給期間や返済据置期間の終了に伴い、「ウイズ・コロナ」あるいは「ポスト・コロナ」の状況下で、引き続き「金融支援」と長期目線での「経営支援」に取り組んでいく必要があると認識しています。

経営の持続と安定化に向けた伴走型の「金融支援」を継続するとともに、経営改善支援や事業再生支援に、より一層取り組んでまいります。現在、業績不振による返済の緩和を行っている企業に対しての従来からの支援に加え、コロナウイルス関連保証利用企業に対するアフターフォローとして、金融機関から提出される「モニタリング報告書」により、経営悪化の兆候が確認される場合には、早期支援に着手しています。

このように当協会では、危機時のセーフティネット機能を果たすとともに、企業の「創業支援」をはじめ「生産性向上支援」や「事業承継支援」、「経営改善支援」など、企業のライフステージに応じた様々な取組を進めています。

本年も、金融機関をはじめ、関係諸機関の皆さまとの連携を強化し、「身近で信頼される協会」を目指して役職員一同、全力で取り組んでまいります。

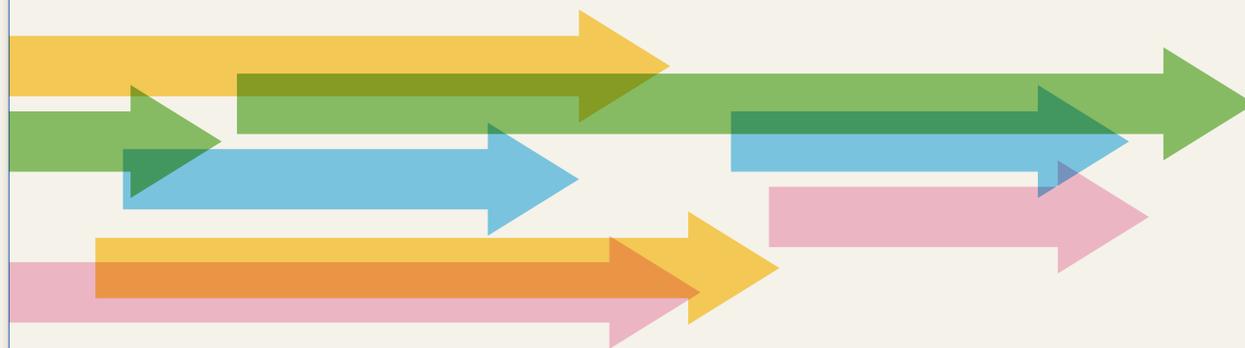
改めまして、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたしますとともに、この一年が良き年となりますよう、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和4年1月



会長 吉林 章仁

令和3年度 第3四半期概況



- ◆ 保証承諾は、第3四半期中において5,433件、576億円と、前年同期比で件数44.1%、金額41.4%となりました。年度累計では、15,787件、1,659億円と、前年同期比で件数27.1%、金額19.1%となりました。
- ◆ 保証債務残高は121,711件、1兆3,800億円と、前年同期比で件数100.8%、金額104.8%となりました。
- ◆ 代位弁済は、第3四半期中において247件、20億円と、前年同期比で件数111.3%、金額116.6%となりました。年度累計では、775件、69億円と、前年同期比で件数76.1%、金額69.6%となりました。
- ◆ 保証利用企業者数は53,034企業となり、前年同期比102.9%となりました。

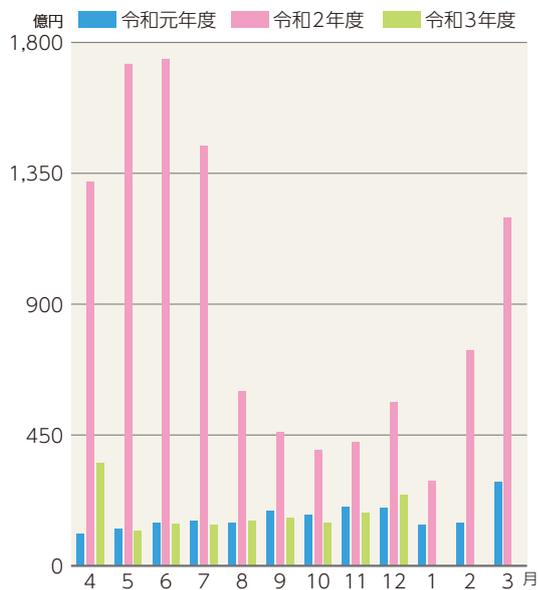
(単位:件、億円)

		第3四半期中		年度累計	
			前年同期比		前年同期比
保証承諾	件数	5,433	44.1%	15,787	27.1%
	金額	576	41.4%	1,659	19.1%
保証債務残高	件数	—	—	121,711	100.8%
	金額	—	—	13,800	104.8%
代位弁済	件数	247	111.3%	775	76.1%
	金額	20	116.6%	69	69.6%
保証利用企業者数		—	—	53,034	102.9%

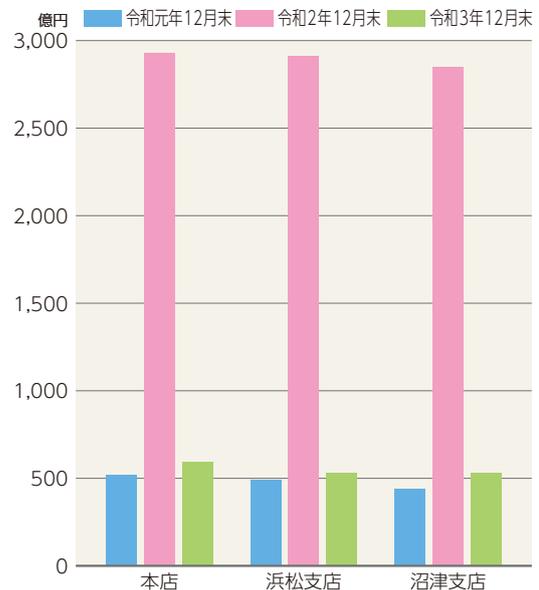
1 保証承諾

- 保証承諾は15,787件、1,659億円と前年同期比で件数27.1%、金額19.1%となりました。本店、浜松支店、沼津支店の全店で減少となっています。
- 制度別構成比では、県制度が38.6%となっています。
- 業種別構成比では、建設業27.4%、製造業25.9%、小売業・飲食業15.1%の順となっています。

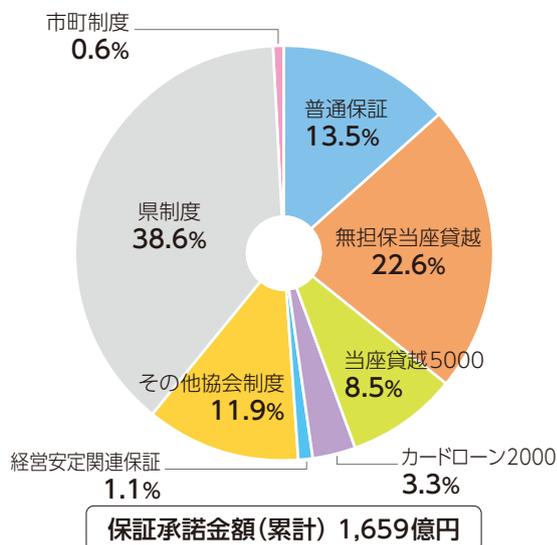
● 月別保証承諾金額



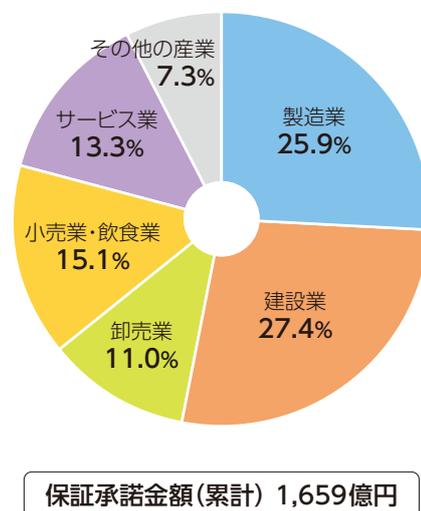
● 本支店別保証承諾金額



● 制度別保証承諾 (構成比)



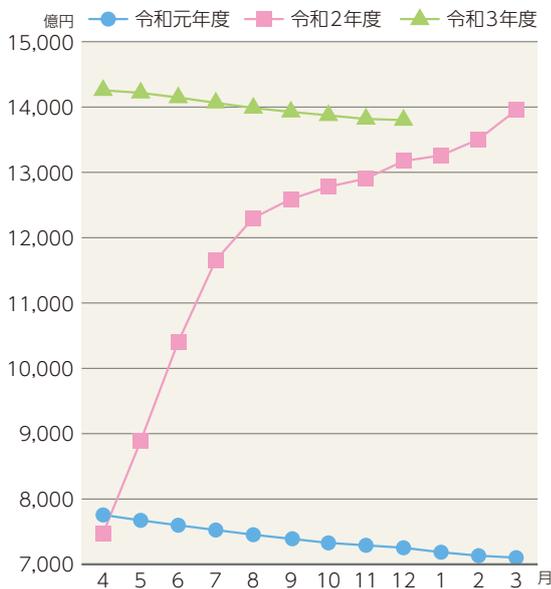
● 業種別保証承諾 (構成比)



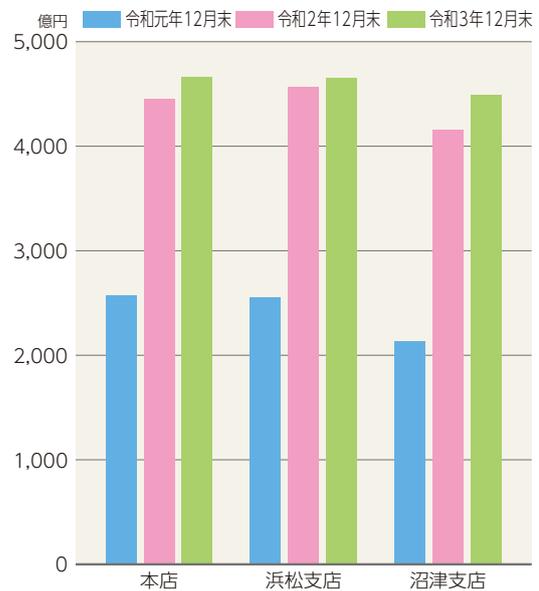
2 保証債務残高

- 保証債務残高は121,711件、1兆3,800億円と前年同期比で件数100.8%、金額104.8%となりました。本店、浜松支店、沼津支店の全店で増加となっています。
- 制度別構成比では、普通保証8.6%、経営安定関連保証3.8%、県制度は66.6%となっています。
- 業種別構成比では、製造業28.9%、建設業23.7%、小売業・飲食業14.8%の順となっています。

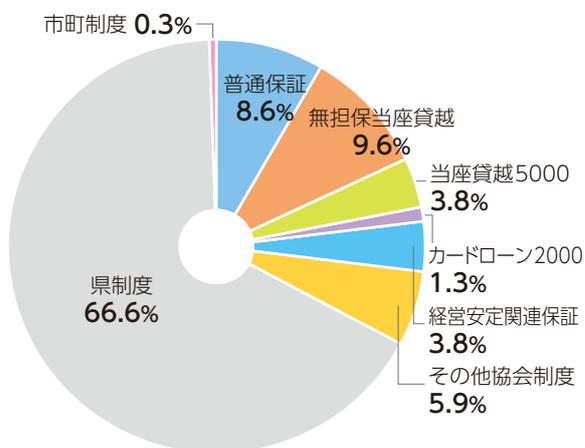
●月別保証債務残高



●本支店別保証債務残高

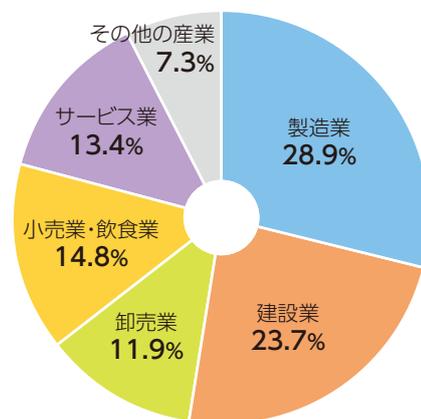


●制度別保証債務残高 (構成比)



保証債務残高 1兆3,800億円

●業種別保証債務残高 (構成比)

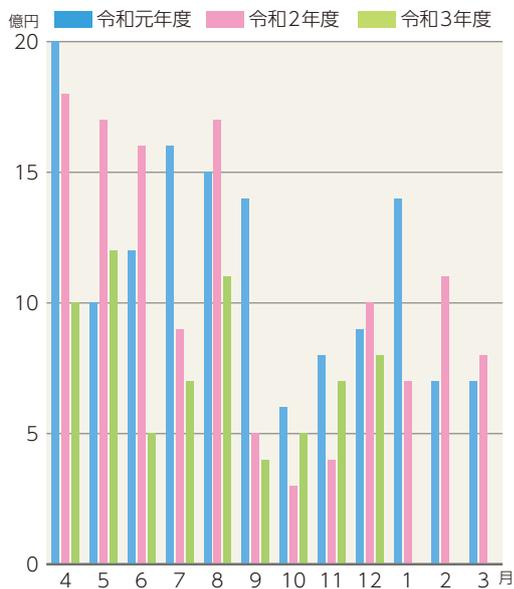


保証債務残高 1兆3,800億円

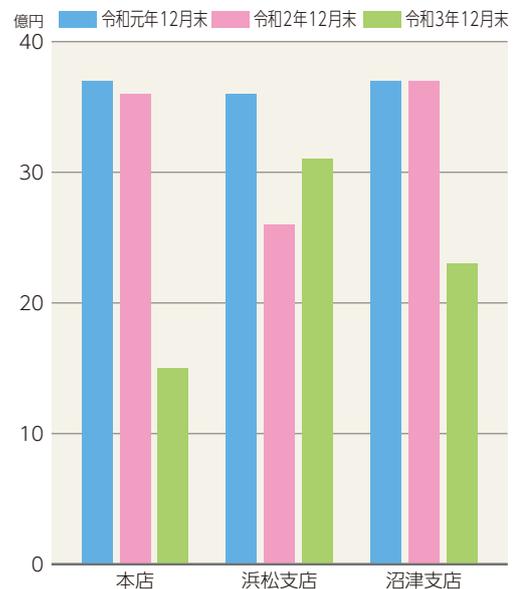
3 代位弁済

- 代位弁済は、775件、69億円と前年同期比で件数76.1%、金額69.6%となりました。本店、沼津支店では減少、浜松支店では増加となっています。
- 制度別構成比では、普通保証26.0%、経営安定関連保証16.5%、県制度は30.2%となっています。
- 業種別構成比では、製造業34.1%、小売業・飲食業21.7%、建設業16.7%の順となっています。

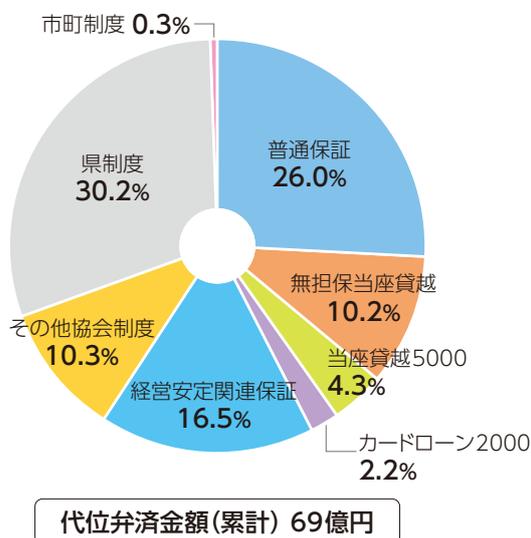
●月別代位弁済金額



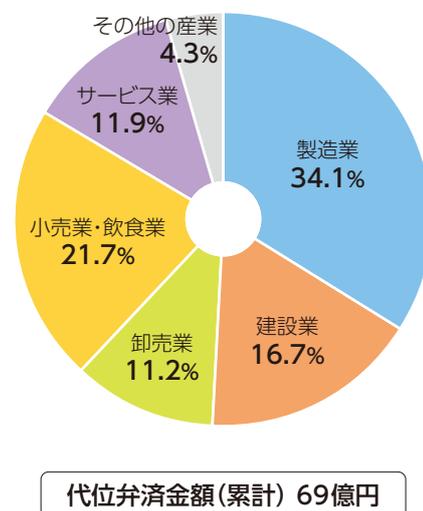
●本支店別代位弁済金額



●制度別代位弁済 (構成比)



●業種別代位弁済 (構成比)



お客様にとって、
存在意義の
ある会社でありたい。



シーラック株式会社
望月洋平 代表取締役

鰹節の概念を変えた 「バリ勝男クン。」の開発

鰹節は、日本の食文化を支える食材のひとつです。「勝男武士」とも表記され、背部からできる雄節と、腹部からできる雌節が一对になることから、夫婦円満の象徴として結納品や引き出物に用いられる、縁起物です。弊社でも長年ブライダルギフトの主力として販売してきました。

しかし、時代とともにバウムクーヘンなどの洋菓子が人気となり、少子化による挙式数の減少で、売上は低迷。そこで考案したのが「味見できる鰹節」です。当時、ブライダルフェアでは菓子類が試食に出ていましたから、鰹節も試食できる商品にしようと考えたのです。思案の末、食べやすいよう厚く削ってチップスにし、味付けして焼き上げ「バリ勝男クン。」の名で出しました。これが初の自社ブランド「バリ勝男クン。」の始まりです。



競合をするよりも ニッチな市場で一番に

「バリ勝男クン。」には鰹節に商品として優位性を持たせたい、という思いがありました。他社と同じような商品を作って競合しても、決してパイオニアには敵いませんから、ニッチな市場を狙って一番を目指そうと考えたのです。その甲斐あって他には無い商品として注目され、好評を得ました。そしてやがて、それを受け取ったお客様から「これはどこで買えるの?」と、会社へ直接問い合わせが殺到するようになったのです。そのあまりの反応の良さから、家庭用として商品化に踏み切りました。

商品化にあたって目指したのは、鰹節が持つ伝統食のイメージを一新する、これまでにない商品でした。そこで若い方をターゲットに、受験生にも食べてもらえるよう、おつまみやおやつとしてリニューアルを決め、様々な試行錯誤を重ねて「バリ勝男クン。」を完成させました。





成功の鍵はスピードと徹底したマーケティング

「バリ勝男クン。」開発には、社員と共に学んだマーケティングやブランディングの知識を活かしました。例えば商品名は耳に残りやすい破裂音に加えてバリバリという食感と、鰹のDHAパワーでバリバリ仕事をこなすという2つの意味をかけ、字も縁起の良い「勝男」にしました。パッケージはお客様に手に取ってもらえるよう、親しみやすいキャラクターを考え漫画にしました。また商品名と会社名を知ってもらうため、テレビCMとCMソングも制作し、CMには社員の声も使いました。

発売時は地産地消が注目されていたこともあり、コンビニや道の駅でも取り扱われ、さらには土産物として人気になりました。実は弊社では、パッケージなどのデザインもすべて自社で、原料の仕入れから、製造、商品開発、営業販売までほぼ一貫して行っています。ゆえに企画から商品化まですぐに実行でき、このスピード感も商品のヒットに繋がったと思います。



自社ブランドができたことで、自信が持てるようになりました。自社の創造力、商品力、販路開拓力を活かし、引き出物やOEMなどの従来の事業にも、良い相乗効果が出ています。

いかにお客様に影響を与えられるかを考える

弊社では原料からこだわって、伝統的な製法で本枯れ節を製造しています。これを削り立てで食すと、香りも味も最高ですが、なかなか家庭ではできません。美味しいものを手軽に味わいたい、という消費者のニーズに応えることは、メーカーとして大切だと思うのです。また、私は食品を単に消費するものでは終わらせたくない、と考えています。美味しさはもちろん、食べる人を喜ばせたり、わくわくさせたりできるような、食べることに価値を与えられるものにしたいのです。

「シーラックが無くては寂しい」と言っていただけるような商品を作り、お客様に影響を与えられる、お客様にとって存在意義のある会社でありたいと思っています。

人との縁を大切に皆に喜ばれる仕事を

現在、型海苔を使った商品を中心に、新たな販路が広がっています。ご縁に恵まれて、これまで参入が難しかった場所でも取り扱っていただけるようになり、大人気商品となっています。また、私どもが経営する郊外型ビジネスホテルも、充実した設備で大変喜ばれています。今後もお客様に近いところで、その声を大切にしながら、新たな事業にも挑戦してまいります。



長年のブライダル事業が独創的な商品の源

「バリ勝男クン。」誕生の背景には、弊社がブライダル事業で培ってきた経験があります。他に先駆けて風呂敷をパッケージに採用するなど、新たなギフトを作る創造力があつたからこそ、このような独創的な商品を生むことができたのです。



企業データ



- 会社名/シーラック株式会社
 - 代表取締役/望月洋平
 - 所在地/静岡県焼津市高新田45-1
 - TEL / 054-622-0185 (代) FAX / 054-622-3513
 - 設立 / 1946年11月
 - 事業内容 / 鰹節・削節・水産加工食品、各種食品 (贈答用) の製造、販売
- <https://www.sealuck.co.jp>

日本赤十字社から感謝状を受領

当協会では、社会貢献の一環として、毎年、日本赤十字社へ活動支援を行っています。

令和3年10月11日、当協会の継続的な支援に

対し、日本赤十字社から感謝状をいただきました。

今後も社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。



感謝状受領時の様子

経営改善セミナーを開催

令和3年10月28日、経営改善の必要性とその取組方法について参加者に理解を深めてもらうことを目的として、「経営改善セミナー」を開催しました。

セミナーはオンラインで配信され、中小企業者、支援機関や金融機関など68名にご参加いただきました。

当日は、鳥居食品株式会社の鳥居大資社長に「時代の変化に合わせた経営、自分のスタイルに

合わせた経営」と題してご講演をいただきました。家業を継がれるまでの様々なご経験談や、不得手な「営業」はせず、ワークショップやプレスリリースを用いるマーケティング手法等について、受講者にわかり易くお話しいただきました。

受講者からは、「自社の参考にしたい」「独自性の発想に学びがあった」等の感想が寄せられ、非常に有意義なセミナーとなりました。



鳥居大資社長による講演の様子

日本政策金融公庫および商工組合中央金庫と覚書を締結

当協会は、日本政策金融公庫（以下、「日本公庫」という。）および商工組合中央金庫（以下、「商工中金」という。）とともに、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況下に置かれた事業者に対し、三者が相互に連携して支援することにより、その持続的な運営と地域経済の活性化を図るため、令和3年11月1日に「新型コロナウイルス感染症により影響を受けた事業者に対し連携支援を行うための覚書」を締結しました。

当協会、日本公庫および商工中金は、新型コロナウイルス感染症が長期化する中、資金繰りの安定化や財務体質の強化を図る中小企業者に対し、日本公庫や商工中金が提供する長期安定資金等（資本性劣後ローンを含む）を活用するとともに、保証協会付融資や専門家派遣などを組み合わせることによって、資金繰り支援・経営支援を行い、中長期的な事業の発展を支援していきます。



覚書調印式の様子

信用保証業務推進協議会を開催

令和3年11月10日、「信用保証業務推進協議会」を開催しました。本協議会は、信用保証業務の向上と発展を目的に例年開催しており、今回で31回目となります。

当協会から、令和3年度上期の業務実績や各種

支援施策について説明を行い、静岡県、商工団体、金融機関等の関係機関の皆さまから、貴重なご意見をいただきました。

今後、いただいたご意見を業務に反映し、県内中小企業者の発展に貢献できるよう努めていきます。



信用保証業務推進協議会の様子

業務改善運動 (ssh運動) 事例発表会を開催

令和3年11月17日、業務改善運動 (ssh運動) 事例発表会を開催しました。

本運動は、職員が身近な業務を見直し、自発的に改革・改善を実施することにより、仕事の質を高め、生産性の向上につなげるとともに、中小企業者へのサービス向上を図ることを目的に平成24年度

から実施しています。

職員の業務改善への意識は年々と高まっており、今年度は132件の提案事例報告がありました。

今後も役職員一丸となって継続的かつ積極的に業務改善に取り組み、生産性とサービスの向上に努めていきます。



業務改善運動 (ssh運動) 事例発表会の様子

県内の学生向けに講義を実施

当協会では、毎年度、金融教育による地域貢献活動として県内の学生向けに講義を行っています。

令和3年11月12日、静岡産業大学において、11月17日、静岡県立大学において、「中小企業金融と信用保証協会の役割」をテーマに協会職員がオンライン講義を実施しました。

また、11月22日、沼津情報・ビジネス専門学校において、「創業に関する講義」を実施し、創業計画の立て方や資金調達の基礎などを説明しました。

今後も積極的な広報活動や社会貢献活動に取り組んでいきます。



静岡県立大学とのオンライン講義の様子



沼津情報・ビジネス専門学校での講義の様子

ちあふるイベント(創業セミナー・マルシェ)を開催

当協会では、創業者の成長・発展支援を目的とした「創業セミナー」を開催しており、今年度は全3回にわたって、創業計画の作成、販促のコツや売場作りのコツについて学ぶセミナーを行いました。

令和3年11月27日には、セミナーで学んだことを試す出店体験イベント「第2回 ちあふるマルシェ」を開催し、出店者は各自の出店ブースで創業セ

ナーの学びを実践しました。

マルシェには、飲食・雑貨等の販売やワークショップなど20店舗のブースが並び、多くのお客様にご来場いただき盛況のうちに終了しました。

今後も積極的な創業支援を行い、起業に挑戦する皆さまを後押ししていきます。



創業セミナーの様子



ちあふるマルシェの様子

しずおか中小企業支援ネットワーク第15回連絡会議を開催

令和3年12月6日、当協会が事務局を務める「しずおか中小企業支援ネットワーク第15回連絡会議」をオンライン形式で開催しました。金融機関、中小企業支援機関等の23機関が参加しました。

本会議は、中小企業の経営支援に関する情報提供や意見交換などを通じ、その重要性について認識を共有し会員相互の連携強化を図ることを目的として、定期的に開催しています。

講演は2部構成とし、第一部では、日本政策金融公庫 静岡支店 支店長兼中小企業事業統括 出穂

洋一郎様と、商工組合中央金庫 静岡支店 支店長 松下剛士様から、「新型コロナ対策資本金劣後ローンによる経営支援について」をテーマにご講演いただきました。

第二部では、独立行政法人中小企業基盤整備機構 中小企業再生支援全国本部 プロジェクトマネージャー 松浦義浩様から、「新型コロナ禍における中小企業再生支援協議会の取組について」をテーマにご講演をいただきました。



日本政策金融公庫 静岡支店
支店長兼中小企業事業統括 出穂洋一郎様



商工組合中央金庫 静岡支店
支店長 松下剛士様



中小企業再生支援全国本部
プロジェクトマネージャー 松浦義浩様

令和3年度 第2回外部評価委員会を開催

令和3年12月9日、「令和3年度 第2回外部評価委員会」を開催しました。

当協会では、経営の透明性を高めるため、中立的な立場である外部の専門家で構成される外部評価委員会を設置し、経営方針や経営計画の実施状況について、客観的な評価を受けています。

会議では、令和3年度上期の業務概況と実施している施策について、委員の皆さまから様々なご意見をいただきました。

いただいた貴重な意見を業務に反映し、地域経済の発展に貢献できるよう努めていきます。



外部評価委員会の様子

静岡県信用保証協会 外部評価委員

佐藤経済研究所 所長

佐藤 克昭

静岡県立大学 経営情報学部

経営情報学科 特任教授

経営情報イノベーション研究科 特任教授

西野 勝明

浜松学院大学・同大短期大学部 学長

俵山 初雄

(敬称略)

LINE公式アカウントのお知らせ

当協会のLINE(ライン)公式アカウントを開設しています。

中小企業・小規模事業者の皆さまや金融機関・関係機関の皆さまを対象に、保証制度や創業・

経営支援、セミナー・イベント開催などの最新情報を配信しています。

ぜひ、この機会に「友だち追加」いただき、ご利用ください。

友だち追加はこちらから!



または

ID検索 ▶ @cgc-shizuoka

無料経営相談実施中

当協会では、中小企業・小規模事業者の皆さまの事業に関するお悩み、ご相談にお応えする「**総合相談センター**」を静岡・浜松・沼津の本支店に開設しています。

資金繰り等金融相談はもとより、創業から生産性の向上、経営改善、事業承継等幅広いご相談に、中小企業診断士または経験豊富な職員がお応えします。

特に、**毎週木曜日は受付時間を19時まで延長**してご相談にお応えします。お気軽にご相談ください。

中部総合相談センター

フリーダイヤル **0120-783-507** または **054-252-2133**
〒420-8710 静岡市葵区追手町5-4 アーバンネット静岡追手町ビル5階

西部総合相談センター

フリーダイヤル **0120-783-508** または **053-451-3570**
〒430-8666 浜松市中区田町330-5 遠鉄田町ビル6階

東部総合相談センター

フリーダイヤル **0120-783-509** または **055-926-5200**
〒410-8691 沼津市米山町6-5 沼津商工会議所会館3階



Web
検索



ホームページでもご相談を受け付けています!

[ホームページトップ](#) → [お問い合わせ・Web相談](#) → [Web相談はこちら](#)

商工会議所の相談会でも、協会職員が各種ご相談にお応えします。

	静岡商工会議所	浜松商工会議所	磐田商工会議所	袋井商工会議所	掛川商工会議所	沼津商工会議所
令和4年1月	5日(水) 13:00~16:00	4日(火) 10:00~12:00	20日(木) 10:00~12:00	14日(金) 13:30~16:00	20日(木) 10:00~12:00	5日(水) 13:00~15:00 19日(水) 10:00~12:00
2月	2日(水) 13:00~16:00	1日(火) 10:00~12:00	21日(月) 10:00~12:00	10日(木) 13:30~16:00	17日(木) 10:00~12:00	2日(水) 13:00~15:00 16日(水) 10:00~12:00
3月	2日(水) 13:00~16:00	1日(火) 10:00~12:00	22日(火) 10:00~12:00	11日(金) 13:30~16:00	17日(木) 10:00~12:00	2日(水) 13:00~15:00 16日(水) 10:00~12:00

本店

〒420-8710
静岡市葵区追手町5-4 アーバンネット静岡追手町ビル4・5・6階
TEL.054-252-2120

浜松支店

〒430-8666
浜松市中区田町330-5 遠鉄田町ビル6階
TEL.053-458-1212

沼津支店

〒410-8691
沼津市米山町6-5 沼津商工会議所会館3階
TEL.055-926-0100

<https://www.cg-shizuoka.or.jp>

静岡 保証 検索

Web
検索



ホームページで
Web相談受付中!



友だち追加は
こちらから!

または ID検索 ▶ @cg-shizuoka

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、国連で採択された「持続可能な開発目標」の略称。
環境やジェンダー平等など世界が統一して取り組むべき目標です。
静岡県信用保証協会はSDGsの推進を支援しています。



FSC® 認証紙を使用しています。
この紙は適切に管理されたFSC® 認証林、再生資源及び
その他の管理された供給源からの原材料で作られています。

